



**平成28年度**

**前期学校評価**

**京都市立嵐山東小学校**

# H28前期学校評価アンケート(保護者)

上の数字 H28 年度の結果 (下の数字) H27 年度の結果	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより, ホームページなどを通して伝わっている。	39.1% (33.9)	57.0% (62.8)	3.2% (3.1)	0.6% (0.2)
教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる。	51.9% (41.0)	46.2% (55.1)	1.9% (3.7)	0.0% (0.2)
教職員に気軽に相談できる。	36.2% (26.9)	53.7% (58.3)	8.4% (13.0)	1.6% (1.9)
学習環境は整っている。	29.2% (19.6)	67.3% (68.5)	3.6% (11.0)	0.0% (0.9)
意欲的に学習に取り組み, 学習したことを理解している。	18.5% (8.1)	65.0% (53.0)	16.2% (33.3)	0.3% (5.6)
自ら進んであいさつをすることができる。	17.1% (6.0)	57.3% (37.4)	24.3% (44.2)	1.3% (12.5)
話を聞く姿勢が育ってきている。	13.7% (7.8)	68.5% (44.3)	17.2% (39.4)	0.7% (8.5)
きまりを守って生活している。	22.1% (8.0)	68.2% (48.8)	8.4% (38.4)	1.3% (8.5)
よい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	30.4% (13.8)	63.4% (52.8)	6.2% (30.9)	0.0% (2.5)
「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣ができています。	30.1% (11.5)	50.9% (44.2)	17.5% (33.7)	1.5% (10.6)
子どもと会話する時間を大切にしている。	13.7% (6.8)	68.0% (38.9)	17.7% (49.7)	0.7% (4.7)
学校から配られるお知らせのプリントなどは必ず見ている。	22.0% (12.2)	60.8% (43.8)	14.4% (38.7)	2.8% (5.4)
観懇談会や PTA 活動に積極的に参加している。	10.8% (4.0)	49.7% (26.4)	30.1% (42.8)	9.5% (26.7)

# H28前期学校評価アンケート(保護者)

1. 学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより、ホームページなどを通して伝わっている。



2. 教職員は熱意をもって教育活動に意欲的に取り組んでいる。



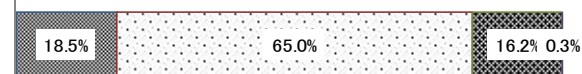
3. 教職員に気軽に相談できる。



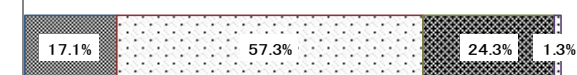
4. 学習環境は整っている。



5. 意欲的に学習に取り組み学習したことを理解している。

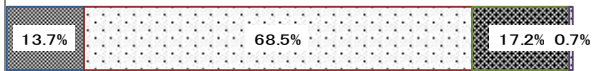


6. 自ら進んであいさつをすることができる。

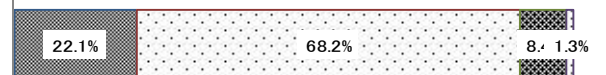


■ よく出来ている ■ 大体出来ている  
■ あまり出来ていない ■ 出来ていない

7. 話を聞く姿勢が育ってきている。



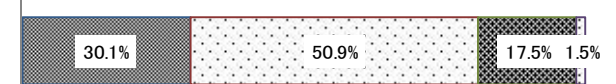
8. きまりを守って生活している。



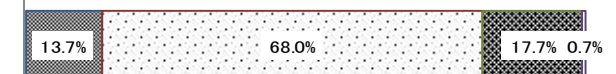
9. よい友だち関係を築いて楽しく過ごしている。



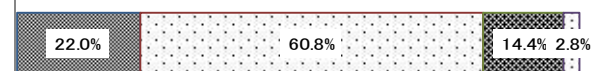
10. 「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣ができています。



11. 子どもと会話する時間を大切にしている。



12. 学校から配られるお知らせのプリントなどは必ず見ている。



13. 参観懇談会やP T A活動に積極的に参加している。

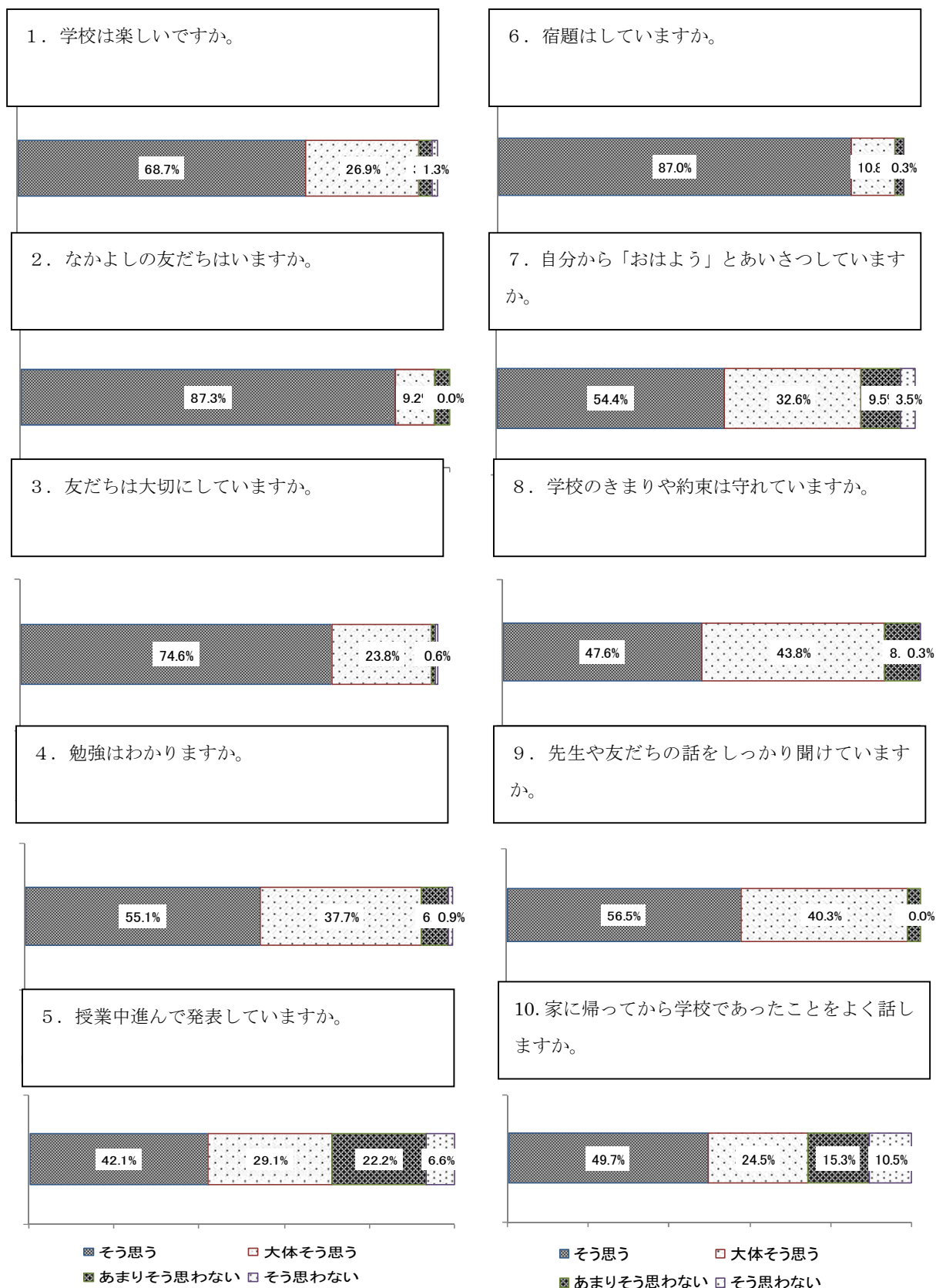


■ よく出来ている ■ 大体出来ている  
■ あまり出来ていない ■ 出来ていない

# H28前期学校生活アンケート(児童)

上の数字 H28 年度の結果 (下の数字) H27 年度の結果	適合度			
	そう思う	大体そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
学校は楽しいですか。	68.7% (61.9)	26.9% (28.3)	3.2% (7.2)	1.3% (2.6)
なかよしの友だちはいますか。	87.3% (83.4)	9.2% (12.1)	3.5% (3.3)	0.0% (1.3)
友だちは大切にしていますか。	74.6% (74.6)	23.8% (21.2)	1.0% (2.9)	0.6% (1.3)
勉強(授業)はわかりますか。	55.1% (59.9)	37.7% (30.9)	6.3% (7.2)	0.9% (2.0)
授業中進んで発表していますか。	42.1% (35.6)	29.1% (32.4)	22.2% (20.6)	6.6% (11.4)
宿題はしていますか。	87.0% (78.6)	10.8% (16.2)	1.9% (3.9)	0.3% (1.3)
自分から「おはよう」とあいさつしていますか。	54.4% (52.5)	32.6% (32.5)	9.5% (12.0)	3.5% (3.0)
学校のきまりややくそくはまもれていますか。	47.6% (45.6)	43.8% (43.3)	8.3% (9.8)	0.3% (1.3)
先生や友だちの話をしっかり聞けていますか。	56.5% (51.1)	40.3% (39.7)	3.2% (7.2)	0.0% (2.0)
家に帰ってから学校であったことをよく話しますか。	49.7% (49.2)	24.5% (23.5)	15.3% (15.0)	10.5% (12.4)

# H28前期学校生活アンケート(児童)

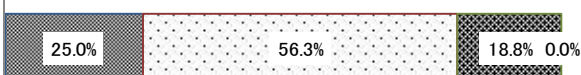


# H28前期自己評価アンケート(教職員)

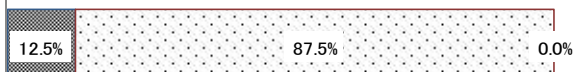
上の数字 H28 年度の結果  (下の数字) H27 年度の結果	実現度			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない
学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だよりやホームページを通して伝えている。	25.0% (35.3)	56.3% (58.8)	18.8% (3.0)	0.0% (2.9)
子どもにとってわかりやすい授業を進めている。	12.5% (8.8)	87.5% (85.3)	0.0% (3.0)	0.0% (2.9)
子ども・保護者からの相談に適切に対応している。	25.0% (9.1)	75.0% (90.9)	0.0% (0.0)	0.0% (0.0)
学習しやすい環境を常に整えている。	31.3% (26.5)	62.5% (70.6)	6.3% (2.9)	0.0% (0.0)
子どものよいところを見つけほめている。	18.8% (17.6)	81.3% (70.6)	0.0% (11.8)	0.0% (0.0)
一人一人の人権を大切にした教育活動をすすめている。	25.0% (15.2)	75.0% (75.8)	0.0% (9.0)	0.0% (0.0)
子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。	6.3% (8.8)	93.8% (76.5)	0.0% (14.7)	0.0% (0.0)
子どもは自ら進んであいさつをするようになってきている。	12.5% (3.0)	81.3% (66.7)	6.3% (27.3)	0.0% (3.0)
子どもは話を聞く姿勢が育ってきている。	12.5% (2.9)	81.3% (58.8)	6.3% (32.4)	0.0% (5.9)
子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。	6.7% (2.9)	93.3% (67.6)	0.0% (26.5)	0.0% (2.9)
子どもは良い友だち関係を築いて楽しく過ごしている。	0.0% (2.9)	93.3% (67.6)	6.7% (29.4)	0.0% (0.0)

# H28前期自己評価アンケート(教職員)

1. 学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより、ホームページなどを通して伝わっている。



2. 子どもにとってわかりやすい授業を進めている。



3. 子ども・保護者からの相談に適切に対応している。



4. 学習しやすい環境を常に整えている。



5. 子どもの良いところを見つけほめている。

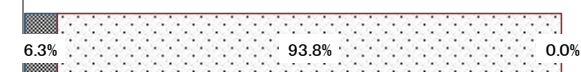


■ よく出来ている ■ 大体出来ている  
■ あまり出来ていない ■ 出来ていない

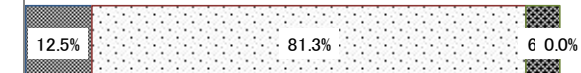
6. 一人一人の人権を大切にしたい教育活動を進めている。



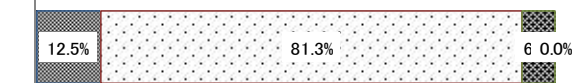
7. 子どもは意欲的に学習に取り組んでいる。



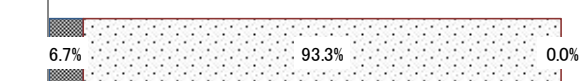
8. 子どもは自ら進んであいさつをするようになってきている。



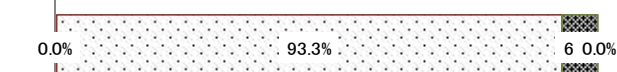
9. 子どもは話を聞く姿勢が育ってきている。



10. 子どもは学校のきまりや約束を守って生活している。



11. 子どもは良い友だち関係を築いて楽しく過ごしている。



■ よく出来ている ■ 大体出来ている



# H28前期学校評価アンケート分析

学校評価アンケートにご協力いただきありがとうございました。児童数 326 名（アンケート回収時、10 月 1 日現在は 327 名）に対して、保護者の回答数が 310 件（回収率 95.1%）だった結果から、保護者の皆様の学校に対する関心の高さと期待の大きさが伺えます。

今回のアンケートも平成 27 年度と同様の形式にし、肯定的評価・否定的評価の差を比較検討しました。児童の学校生活アンケートについては大きな変動はなかったものの、保護者と学校評価アンケートや教職員の自己評価アンケートでは、10%以上の肯定的な評価による変動がある項目が多くなっており、学校と家庭との連絡・連携がより充実してきていることが読み取れます。

「自ら進んで挨拶をすることができる。」の項目では、保護者の肯定的評価は 31%も伸びています。自由記述の中でも

- ・「道ですれ違う人に、大きな声で挨拶できるようになっていたのが驚きでした。」
- ・「学校に行く機会が増えて感じた事は、まず朝の子ども達の挨拶です。とても多くの子ども達が、“おはようございます”と大きな声で目を見て挨拶してくれた事が嬉しかったです。」
- ・「子ども達の集団登校時など、自分から元気よく挨拶してくれる子が増えてきたように思います。我が子にも身についてきていると感じています。」

の意見に代表されるように、子ども達の挨拶に対する意識も以前と比べて随分変わり、前向きに挨拶できるようになってきたように思います。本校のスクールガードリーダーの方も、「他校の子ども達と比べてしっかりあいさつができています。」とほめてくださいました。今後も、相手を認め尊重することの第 1 歩としての挨拶を、気持ちよく丁寧に当たり前の行為としてできるようご家庭と協力して取り組んでいきたいと思います。

生活習慣に関わる内容で、次のようなご意見がありました。

## ① 食後の歯磨きについて

「週 1 でフッ化物洗口が行われている事はとても良い事だと思います。食べたら歯を磨く時間がないこと、歯磨きの推奨がなされていないことが少し残念です。保健日よりなどで歯磨きの重要性をお知らせするなら実践する方向がベストかと思います。」

## ② 上ばきの持ち帰りについて

「上級生のお家の方から聞いていましたが、1 学期に 1 度しか上ばきを持ち帰ってこず、とても臭うし汚いとのことでした。実際入学してから一度も持ち帰ってこないで、持ち帰ってくるよう促しましたが、誰も持ち帰ってこないから・・・と拒否されてしまいました。衛生上、持ち帰りを（週末など）推奨されるとありがたいと感じています。」



この件に関しては、既に各学級だよりでもお知らせしましたように、次のような指導方針としました。

○給食後の歯磨きについて

食後の歯磨きが習慣となるよう、給食後の歯磨きを推奨していきます。  
歯ブラシの管理は個人に任せますので、給食袋の中に毎日清潔な歯ブラシを入れて持ってくるようにしてください。

○上靴の持ち帰りについて

週末には必ずということではありませんが、上靴が汚れたら週末に持ち帰って、きれいに洗って休み明けに持ってくるように声をかけていきます。

「きまりを守って生活している。」の項目では、保護者の肯定的評価は 33.5%伸びています。保護者の自由記述でも

- ・「1年生、緊張と期待をもって入学し、先生のご指導できまりを守り、意欲的に学習に取り組む姿が見られます。」
- ・「先生がダメな事をした時は叱って、遊ぶ時は思いきり楽しむ！とメリハリをつけてくださっているのが、子ども本人にも伝わっているようです。」

という意見からも、学習規律が確立され、学習時間と遊び時間の区別がしっかりとできつつあることがわかります。

このことは、「意欲的に学習に取り組み、学習したことを理解している。」の項目とも連動し、保護者の肯定的評価 22.4%の伸びにも反映されていると考えられます。

- ・「少しずつ勉強の内容も難しくなりはじめていると思うのですが、授業参観ではクラス全体に緊張感が感じられ、落ち着いて学習ができているようで、とても安心しています。」
- ・「3年生になり、低学年の頃から少し学習内容も進み、わが子も新しい事を学ぶ度に（特に社会や理科）嬉しい様子で知らせてくれます。担任の先生も替わり、初めて授業参観に寄せて頂いた時は、これまでの低学年での雰囲気からがらりと変わり、空気が張り詰める一瞬や子ども達の学ぼうとする姿勢に驚かされました。」
- ・「担任の先生のご指導のおかげと思いますが、学校に対して、授業に対して、勉強に対して、前向きに、自分からどんどんやってみたい、できるようになりたいという気持ちが育ってきていると感じます。」
- ・「担任の先生の熱心な授業の取組により、たいへん中身の濃い充実した学習ができていることにとても感謝しています。」

以上のような保護者の意見に代表されるように、児童の学習に対する姿勢が意欲的自主的になってきています。

今後の課題は、授業で学んだことをゆるぎない学力として、生きる力として確実に定着させるために、各種調査を利用してその結果をもとに作成した学力向上プランによる計画的な学習を粘り強く継続していくことです。

「学校の教育方針や教育活動が学校だより・学年だより、ホームページなどを通して伝わっている。」の項目では、

- ・「先生が何を大切に思って、子ども達にどういう方針で接していらっしゃるのか、折に触れきめ細かくこちらに報告してくださるので、親も同じ価値観で子どもに対応できます。」
- ・「日々熱心に真っ直ぐ子どもと向き合ってくださっている様子が学級だよりから伝わってきます。」
- ・「担任の先生が、学校や電話でお話する時、子どもの様子をとても丁寧に教えてくださるのでありがたいと思っています。一人一人をよく見てくださっていることがわかり、また、先生の考えや指導方針も伝わってくるので、家庭内でもどうしようと話し合ったりしています。」

との意見をいただいている反面、教職員の「よく出来ている」の評価は 10.3%も下がっています。

- ・「ホームページの内容も学年ごとの掲載で見やすいですが、学年によって記事数にムラがあるのが少し気になります」

という意見からも、学年やクラスからの情報提供や発信に差があることが評価の低下に反映されていると考えられます。学校ホームページは、

- ・「他校に比べ更新も多く、子どもから話題にならないことも、こちらから聞くこともでき、またいろいろ情報を得る事ができるので、とてもよく毎日楽しみにしています。」

という意見のように、話題提供や家族との会話に大きく活用されています。しかし、

- ・「学校HPの写真は担任の先生が撮影されているとのこと。たくさん写真が掲載されている学年とそうでない学年がありますが、授業中の写真はそれほど必要ないのではと思います。写真に先生のお手がとられるのならば、写真撮影よりも子ども達に目を向けて頂ける方が嬉しいです。」

という意見もあり、教育情報を共有することで教育活動が活性化することが目的であり、決してホームページ作成が目的化しないように留意しなければなりません。

今回のアンケートの自由記述で最も多かったのは、「外部講師による特別授業」に関するご意見です。

- ・「外部講師を招いての授業がとても充実しており、素晴らしいと思っています。やはり直接見て、触って、五感で体感して学べる意義はとても大きいと思います。そのような環境を整えてくださる教職員の皆様に感謝しております。」
- ・「外部講師を招いて、子ども達に様々な体験をさせて頂けるのは、大変ありがたく思っております。テレビで見るだけとは違い、本物に触れる事、憧れを持つ事、感受性を養う事は子どもにとって本当に大切な事だと思います。」
- ・「今年度たくさんの外部講師の方による授業を設けて頂いて、貴重な経験をできていると感じている。学校外からの刺激を受ける事は、子どもにとって楽しく心の財産を貯める良い機会だと思う。」
- ・「外部講師を招いての授業に力を入れてくださり、良い機会を与えてくださっている事に感謝しています。様々な経験を通して、視野の広い人間に成長してくれたらと思います。」
- ・「綱引きやNコンはじめ校外での学習も、子ども達がとっても意欲的でいきいきしていてこちらも見えて嬉しくなります。」
- ・「外部講師による授業は面白い取組だと思います。いろいろな職種の方のお話を聞くことで夢や希望を感じてくれたらいいなと思います。そこまで感じなかったとしても心の財産になると思います。」
- ・「今年度は綱引きやNHKの合唱、駅伝に向けてとどの子にも頑張れる環境を用意して下さり活気にあふれていると思います。我が子はマラソンですが、家では歌を歌ったり、綱引きの結果を喜んだり・・・と参加していなくても刺激をいただいています。」
- ・「今年は6年生の子ども達に綱引きや合唱コンクールなど新しい事にチャレンジする機会を与えて頂き、子ども達も自ら意欲的に取り組み、結果を出すことで自信を持つようになってきました。」
- ・「みんなで一つの目標に向かって挑戦することはとてもいいことだと思うし、学校生活にもハリがでるんじゃないかなと思います。」
- ・「NHK合唱コンクールや綱引き大会、大文字駅伝等を通して、毎日地道に努力を重ねる事の大切さや仲間が一丸になった時の力の大きさを感じてくれたらいいなあと思います。」

など、多くのご意見をいただいています。

この取組は、平成28年度の学校教育の重点『国際化と感性の高揚を意図した「体験活動」』に基づくもので、

「文化芸術・スポーツ等の各分野で活躍する人物を外部講師として招聘し、その業績や生き方に触れることは感性を高め豊かにする。そして、多様な学習の機会や場を通じての体験は、思考と行動に柔軟性と多様性を持たせ、国際的視野を育む基礎となる」

という理念のもとに、さまざまな活動に取り組んできました。

今後も次のような日程で体験活動を予定していますので、保護者の皆様もご参加いただき、子どもたちと共に感性を磨き高めていただければと思います。

<今後の予定>

- |                     |  |
|---------------------|--|
| 10月25日（火）5・6校時【全校】  | 「文化芸術による子供の育成事業（巡回公演事業）」～スターダンサーズ・バレエ団公演『シンデレラ』～ |
| 10月28日（金）2・3校時【3年】  | 「京の『匠』先生派遣事業～京房ひも・撚ひも～」京房ひも工業協同組合                |
| 5・6校時【4年】           | 「花育活動～ボタンの植樹～」京都府花き振興ネットワーク                      |
| 11月1日（火）5・6校時【5年】   | 「京都市芸術文化協会～ようこそアーティスト能楽（シテ方）～」能楽協会京都支部           |
| 11月29日（火）3・4校時【5年】  | 「小学生への環境学習事業～人と自然の共生・樹木の役割と私たちの生活～」花豊造園（株）       |
| 12月6日（火）5校時【1年】     | 「いきもの大好き～うさぎとの交流～」京都獣医師会                         |
| 5・6校時【5・6年】         | 「子供 夢・アート・アカデミー～芸術院会員・学校歴史博物館館長・日本画家 上村淳 先生の講演～」 |
| 12月9日（金）5・6校時【5年】   | 「認知症安心サポーター養成講座」西京・北部地域包括支援センター                  |
| 1月13日（金）3・4校時【1・2年】 | 「京都水族館による環境学習出前授業～オオサンショウウオを通じて伝える地球の未来」         |
| 5・6校時【5年】           | 「花育活動～いけばな～」京都府花き振興ネットワーク                        |
| 2月8日（水）3～6校時【6年】    | 「小学生への環境学習事業～太陽光発電で地球を守ろう～」京セラ（株）                |

## H28学校評価アンケート自由記述(教職員)

- 朝の登校や集会で全校集まったときの様子を見ると、しっかり挨拶をしたりきちんと聞くことのできる子が増えた。高学年の子ども達が自分の役割をしっかりと果たしている姿や、自分の目標に向かって頑張っている姿を見せてくれていることが、低・中学年の子ども達にもよい影響を与えて学校が落ち着くことにつながっていると思う。しかしまだ、「先生やおとなの人に言われたからやる。」とか「自分には関係のないことだから関わらない。」という姿もしばしば見られるので、自分で考えて行動する力をつけなければならないと思う。
- 子どもにとってわかりやすい授業づくりに関して、しっかり準備をしたつもりでもまだまだ出来ていない部分があった。45分の授業の中で、今日の授業分わかりやすかったなあ、面白かったなあ、と子どもが感じる授業をするために、教材研究を重ね、専門性を高めていきたい。自分の思いを言葉で相手に伝える、というのが苦手な児童がいる。そういった児童に対しては、誰に何を伝えたいのかをできるだけ具体的に話すように指導している。授業の中での話し合い活動や、発表でも具体的にどう感じたかを考えさせ、それを発表させるということを大切にしていきたい。
- 保護者の方に児童の学校の様子がよくわかるように、学校ホームページに日々の学習の様子をアップしている。保護者とは連絡帳だけでなく、顔を突き合わせて話す方がより理解してもらえと思うので、出来るだけ直接話す機会を作っている。
- あいさつでは、6年生や計画委員・代表委員など子どもたちが中心となって進んで活動しようとする姿がそれぞれのクラスの中にも広がっていているように思います。しかし、まだ自分からすすんでできない児童もいることや、いつでも誰にでもできているかという点では課題もあるので、これからも続けて取り組んでいきたいです。

掃除（ぴかそ）や当番の仕事、学校のきまりなど、「言われたらできる」「先生がいたらできる」ということは多いものの、「自分で考えて行動する」ということにはまだ課題があるように感じます。言われなくても、誰も見ていなくても、正しいと思ったことを人につられることなく自分で判断してできる力をつけていきたいと思います。

出前授業やゲストティーチャーを招いての学習など、より専門性の高い学習や興味をもって取り組める学習の機会が多く、子どもたちにとってとてもよい経験になっていると感じます。

大文字駅伝に向けての練習や綱引選手権大会、NHK全国学校音楽コンクールに向けての練習など、学校の授業や部活動以外の取組にも一生懸命取り組む6年生の姿はとてもかっこいいと感じます。「あんな風になりたい」と他学年も思うようなすてきなお手本として卒業までひっぱりついでいてほしいなと思います。

- 学校生活を振り返ると、綱引やNHKコンクールなど、挑戦している6年生の姿に良い刺激を受けているように感じます。挑戦する姿に憧れて、自分たちも新たな挑戦を始める。そうした伝統・文化をつくっていかれたらと考えています。

「挑戦する」ということは、学級の中でも大切にしていることの1つです。「挫折を経験したことがない者は、何も新しいことに挑戦したことがないということだ。」(アインシュタイン) 子どもたちには、小さな失敗や挫折の体験をたくさん味わってほしいと考えています。そこで、意図的に間違いを誘発することもあります。学級の中でも、全員(あるいはたくさんの子)に答えを言わせておいて、「(今言った人) 全員、違います。」という場面が何回もありました。そうした場面を、今後もたくさん生み出そうと考えています。みんなの前で間違えることが当たり前になるほど、子どもたちは、生きる力を伸ばしていくもの。だからこそ、子どもたちには、主体的に行動し小さな失敗をたくさん積み重ねてほしい。「失敗が人間を成長させると考えている。失敗のない人なんて本当に気の毒に思う。」(本田宗一郎)

子どもたちに、成功体験を積ませる。そのことの大切さがよく語られています。確かに、成功体験を積ませることが大切なのは間違いありません。しかしながら、それと同じくらい、子どもたちに小さな失敗体験をたくさん積ませることが大切だと考えています。「成功すれば、自信を高めることに繋げることができる。失敗すれば、能力を高めることに繋げることができる。」

挑戦して失敗し、そこでの失敗体験を生かして、成功体験を積む。これが、子どもたちの成長に最も大切なことの1つだと考えています。「私の最大の光栄は、一度も失敗しないことではなく、倒れるごとに起きるところにある。」(本田宗一郎) 子どもたちが挑戦する場を意図的に設定してきたことで、子どもたちの笑顔がたくさん見られ、意欲的に学習に取り組む姿も増えてきています。しかしながら、まだまだ失敗を恐がって発表ができないなど、自分から挑戦できない姿も少なくありません。そこで、今後も子どもたちが挑戦する場を意図的に設定し、子どもたちの生きる力を伸ばしていきたいと考えています。子どもたちが大人になった時、よりよい社会のために、生き生きと挑戦し続ける姿を思い描きながら――。